



総研大ニューズレター

第54号 2012.11 発行

●目次

【今月のトピックス】	「平成24年度10月入学式 挙行	総務課
	「総研大後学期学生セミナー・日本文化を学ぶコース・日本語講座 開催	情報学専攻
	「国立民族学博物館 オープンキャンパス 開催	地域文化学・比較文化学専攻
	「日本歴史研究専攻・秋季大学院説明会 開催	日本歴史研究専攻
	「天文科学専攻・特別公開 三鷹・星と宇宙の日2012 開催	天文科学専攻
	「基盤事務打合せ 開催	総務課

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

11月1日	国際日本研究専攻 大学院入学試験説明会
11月2日	統計科学専攻 大学院説明会
11月3日	第15回先導科学研究科 学術講演会
11月10日	生命共生体進化学専攻 専攻説明会
11月10日	基礎生物学専攻 大学院説明会
11月15日	情報学専攻 入試説明会
11月17日	大学共同利用機関シンポジウム2012「万物は流転する」
11月20日～22日	専門基礎力涵養集中講座 「総研大精選講義」 『量子力学概論』

【今月のトピックス】

●平成24年度10月入学式を挙行

平成24年10月11日（木）、日に日に秋が深まる中、葉山キャンパス2階講堂において平成24年度入学式が行われました。

今年度の10月入学者数は留学生も含めて42名でした。

式典に先立ち、碓井俊樹によるピアノの演奏が行われました。

その後、開式の辞、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ入学が許可されました。高畑学長より式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。



【文責 総務課】

● 総研大後学期学生セミナー・日本文化を学ぶコース・日本語講座を開催

<日程>2012年(平成24年)10月11日(木)～14日(日)

<開催場所>葉山キャンパス

<参加者>

後学期学生セミナー40名:学生33名、教員5名、講演者2名

日本文化を学ぶコース36名:学生33名、教員1名、その他2名

日本語講座21名:学生(受講者計16名)、教員1名、講師4名

<第1日目(平成24年10月11日木曜日)>

平成24年10月11日の入学式の後、“Follow your rainbow”をテーマに平成24年度の後学期学生セミナーが開催されました。

学生委員の方からの挨拶の後、まず、国立情報学研究所のTim Byrnes先生から“Quantum technology, life in Japan, and surviving academia en route the ultimate guest for knowledge”と題して、ご自身の紹介とこれまでの研究生生活でお考えになったことについてのお話がありました。



コーヒーブレイクの後、國學院大學のScott Spears先生の講義では日本の和歌を研究するようになった経緯を、ご自身の研究テーマの話も交えてお話いただきました。



10月入学の学生は前学期に比べ人数も少なく、日本の大学にもかかわらず日本人割合が少ないという国際色豊かなメンバーです。筆者が周りを見回したときには、新入生たちは、少し緊張した面持ちで先生のお話に聞き入っていました。特に外国人学生は、日本で、今後どのように研究生生活を送ればよいのかを考えている様子が見てとれました。

講義の後のディナーセッションでは、新入生一人一人の自己紹介から始まりました。その後、講演者、教員、先輩である学生セミナー実行員、そして新入生それぞれに会話に花が咲き、食事をするのを忘れるほどでした。

学生セミナーに参加した新入生の研究分野は実に様々です。そのようなメンバーでは、専門について話し合うということは困難です。実行委員の先輩方は新入生がスムーズなディスカッションができるように様々なワークショップのプログラムを組んでくださいました。



参加者がお互いに自然に話し合うことができるように、ワークショップ毎にグループメンバーをシャッフルし、それぞれ異なるメンバーで行われました。より多くの人と知り合えることができ、テーマやゲームでコミュニケーションを楽しめるという寸法です。



5人から6人のグループでディスカッションやゲームをしていくうちに会話が弾むようになってきました。日本の伝統的な「かるた」を作る頃には、お互いに打ち解けた様子でした。第一日目の最後には、この自分たちで作ったかるたで「かるたとり」をしましたが、ここでエキサイトする人が続出！大いに盛り上がりました。

かるたとりの後はお開きとなりましたが、その後も意気投合したメンバーが集まり、夜遅くまでにぎやかだった所もあったようです。

<第2日目（平成24年10月12日金曜日）>

二日目はワークショップと日本文化に関する講義がありました。ワークショップではリラックスした雰囲気の中で話合いが行われました。

日本の文化に関する講義では八巻恵子先生により、ご自身の経験から、日本人だけのコミュニティと多国籍な文化を持つコミュニティの違いについてお話をいただきました。

総研大は違った文化的背景を持った人たちが学び、研究する場です。多くの学生、とくに多くの日本人学生にとっては、この文化的多様性をもつ環境で学ぶことは新鮮です。そうであると同時に、ちょっとした無理解が摩擦や困難の元となりうることは常に頭においておかなければなりません。このような環境の中では何にどう気をつければよいかを考える良いきっかけとなりました。

講義の後は、みんなバスの中で食事をとりながら、神奈川県立近代美術館葉山分館へ向かいました。ここでは「ビーズ イン アフリカ」という特別展示を見学しました。想像以上に細かいビーズ細工に見学に来た新入生全員が興味津々で学芸員の方の説明に聞き入っていました。また、美術館の裏庭からは相模湾を目前に望む絶景ポイントがあり、そこにある作品の周りで、自分たちの感想を和気藹々と語っている姿が見られました。

次に向かった所は、山口蓬春記念館です。神奈川近代美術館葉山分館の道をはさんで向かい側の山の中腹にある美術館は、日本画家山口蓬春の晩年のアトリエをそのまま美術館として残してあるそうです。そこで日本庭園や画家のアトリエ、コレクションなどを見学しました。アトリエは当時としてはモダンであったであろう作りと日本家屋の融合に、興味深げな新入生たちでした。当日は山口蓬春のコレクションから吉祥天の絵が飾られていたのですが、筆者が隣にいたインドから来た学生に「あれはラクシュミーだよ」と言ったら「まあ！ そうなの？」と嬉しそうな反応が返ってきました。日本とインドの文化的なつながりを実感したひとときでした。



この後、新入生たちはバスで鎌倉へ向かい、鎌倉大仏と浄妙寺、鶴岡八幡宮へ行き、お茶会を体験する予定でした。ところが、ここでアクシデントが…。鎌倉の道は一本道で幅も狭く、大変混雑します。鎌倉の大仏拝観時間に間に合わないことが判明し、行く時間がなくなってしまいました。結局お茶会の後、鶴岡八幡宮に行くことになり、鎌倉の大仏はキャンセルとなってしまいました。残念でしたが、まずは浄妙寺へ向かいました。

浄妙寺のお茶会では海外から来た学生たちにとってはなんとなく落ち着かない様子。畳の部屋に正座でお抹茶（薄茶）とお茶菓子をいただきました。古民家を移設した茶室から庭を眺めたり、洋菓子の甘さになれた口には甘くない和菓子や苦くて甘くないお茶に驚いたり、庭の水琴窟から聞こえてくる、澄んだ美しい音に耳を傾けたりして日本の伝統的な空間を楽しみました。



鎌倉観光の最後は参道を歩いて鶴岡八幡宮へ。若宮大路の参道は道を長く広く見せる工夫がしてあり、それをガイドの方から説明を受けながら歩いて行きました。（どういう工夫か、みなさん覚えてますか？）

入り口にある源平池の由来や、手水舎での作法、毎年行われる流鏝馬の話、舞殿で源義経の妻である静御前と源頼朝の話などを聞きながら、広い境内を一周しました。

鎌倉で別れて帰る人達を駅近くで降ろした後、最後は、海沿いにバスを走らせ、江ノ島の夜景を横目でみながら、食事をする場所へ向かいました。ベジタリアンの人でも食べられるようなビュッフェ形式のお店で楽しく食事をとった後、宿舎の湘南国際村センターに向かいました。さすがに一同疲れたのか、おとなしめな車内の様子でした。しかし、宿に着くと、ホテルで水着を借りて泳ぎに行くグループもいて、なかなかタフな新入生たちでした。

<第3日目（平成24年10月13日土曜日）>

最終日は日本語講座です。私は日本人なので受講する必要はありませんが、残った人達に挨拶をして帰ろうと湘南国際村センターの向かいにある総研大の葉山キャンパスへ行ってみました。ちょうどセミナーが始まる所で、参加した人全員にお別れを言うことができました。

日本語講座の参加者はレベル別にいくつかのグループに分かれて、日本での生活に必要な言葉を学んだようです。



この学生セミナーを通じて、新入生それぞれが、総研大生として、また研究者の卵としての一歩を踏み出す心構えができたのではないのでしょうか。大変楽しく充実した学生セミナーであったと思います。

5年一貫制と博士後期課程の人達では卒業する時期は違う上、全国各地に散らばったキャンパスという総研大の事情のため、次はいつ会えるかわかりません。筆者は「それではちょっと寂しいな」と思い、いつでも全員とコンタクトをとれるように、平成24年度後学期の新入生メーリングリストを作成しました。

最後になりましたが、神奈川県立近代美術館葉山分館・山口蓬春記念館の学芸員の方々、鎌倉をガイドしていただいたボランティアガイドの方々、そしてこの学生セミナーを企画して下さった先輩方、講義をしていただいた先生、学生セミナーを支援していただいた総研大の先生・スタッフの方々すべてにこの場をお借りして感謝の意を表したいと思います。次に学生セミナーが開催される時には、この体験を次の総研大生につなげていきたいと思っています。

本当にありがとうございました。

【文責 情報学専攻 学生 岡本里夏】

● 国立民族学博物館 オープンキャンパスを開催

10月14日(日)、国立民族学博物館において、平成24年度総合研究大学院大学 文化科学研究科 地域文化学専攻・比較文化学専攻のオープンキャンパスが開催されました。民博でのオープンキャンパス開催は、平成12年度に始まり、今年で13回目を迎えます。当日は晴天にも恵まれ、遠方からの参加者を含めて9名の来場者がありました。

説明会は、総研大葉山本部より出席した高畑尚之学長、須藤健一館長による挨拶に始まり、大学院と民博の概要、大学院の教育内容や入試などについて各担当教員からの解説があった後、質疑応答を行いました。参加者は真剣な表情で説明に聞き入り、進学を想定した具体的な質問も多く、活発な質疑応答となりました。

続いて、施設見学を行いました。久保正敏教授(地域文化学専攻長)による博物館の収蔵庫見学ツアーでは、普段は見ることができない博物館の裏側を目にすることができて貴重な体験になったとの意見が寄せられています。その後、場所を大学院生室に移し、交流会を開催しました。

交流会では、比較文化学専攻の卒業生である窪田暁氏に講話を頂きました。民博では具体的にどのような学生生活を送るのか、実際に経験してきた卒業生ならではのエピソードも語られ、参加者からも好評でした。

その後、参加者と民博の教員・在学生との歓談の時間を設けました。参加者からは、実際にキャンパスを訪れ、教員や学生と交流することで得られた情報も多く、大変参考になったという意見が寄せられています。



【文責 地域文化学専攻・比較文化学専攻】

● 日本歴史研究専攻、秋季大学院説明会を開催

去る10月14日（日）、日本歴史研究専攻（国立歴史民俗博物館）は、平成24年度大学院秋季説明会を開催した。

本専攻では毎年この時期に国立歴史民俗博物館において秋季説明会を開催しており、例年好評を博している。

まず大会議室で仁藤専攻長から挨拶があり、続いて西谷准教授から入試について、小倉准教授から大学院について概要説明が行われた。



大学院秋季説明会に先立ち、挨拶する仁藤専攻長

その後、図書室や院生室などの、入学後使用することになる施設の見学・説明が行われ、さらに一般には公開していない調査室などでの調査の様子を見学し、日本歴史研究専攻への入学を希望する説明会参加者は熱心に説明に聞き入っていた。

施設見学終了後、大会議室に戻り、説明会参加者はそれぞれの専門によって歴史学、考古学、民俗学及び関連諸科学に分かれ、日本歴史研究専攻ではどのような教育が行われているのか、また、総研大入学後にどのような研究を行いたいのか、などがそれぞれの分野の専門教員及び現役の大学院生、OB、OG、を交え、熱心に話し合いが行われた。

秋季説明会後のアンケートでは、文献史学、考古学、民俗学、美術史学、文化財科学、人類学と、多岐にわたる専攻分野に関心が寄せられ、大半の説明会参加者が受験を希望していることが分かった。

また、大学院秋季説明会以前に国立歴史民俗博物館を訪れたことがある者が大半であることがわかった。

その後の会議では、来年度以降も同じ時期に大学院秋季説明会を行い、広く総研大文化科学研究科日本歴史研究専攻を広報していくことが確認された。



調査室で分析機器の説明を受ける秋季説明会参加者



専攻分野に分かれて話し合う大学院秋季説明会参加者と教員、及び現役院生、OB、OG

【文責 日本歴史研究専攻】

● 天文科学専攻・特別公開 三鷹・星と宇宙の日 2012 を開催

今年も例年通り、総合研究大学院大学、天文科学専攻の特別公開が、国立天文台の特別公開に合わせ2012/10/26～27の期間、共同で開催されました。天文科学専攻に所属する約30名の学生は、それぞれの所属部署と総研大の両方で準備を進めながら、当日は“総研大生の研究ライフ2012”と言う企画運営に携わりました。当日はお子さんから10～20代の若者、お子さんの親御さん世代の30～40代、更にはお孫さんがいらっしゃる50～60代の方々とは幅広い年齢層の方々が登場されました。

企画中にアンケートを取った結果（アンケート集計人数は263人）、“大学院での生活がどのようなものなのか、日常・非日常で分けていて、とてもイメージが付きやすかったです。非日常で、いろいろな観測所で観測をしているのが印象に残りました”と言うコメントを頂き、学生

らしさが出た企画が好評を博していました。また、“（総研大の）存在を初めて知ったので、何もかもが印象的でした”というコメントなども頂き、総研大と言う存在を初めて知った方も多くいらっしゃったようです。総研大の PR を兼ねている特別公開なので、企画が持っている目標が十二分に達成されたと言えそうです。一方で、所属部署と総研大企画のシフト調整が直前まで行われていなかったり、折角上手に出来ている動画の配置場所が悪かったりと、反省点も挙げられています。来年の企画立案の際にはこれらの反省を活かし、更に良いものにして貰えればと思います。

～毎年好評の総研大企画の景品や会場の様子！～



クイズの景品は毎年豪華！



学生の日常を紹介中！



クイズに正解すると、景品が貰えます！

【文責 天文科学専攻 博士過程 4年 坂井 伸行】

● 基盤事務打合せを開催

恒例の基盤事務打合せが、葉山キャンパスを会場として平成24年10月11日に開催された。今回の基盤事務打合せでは、18の基盤機関（うち、今回は15機関が参加）に所属する基盤機関事務担当者、葉山本部職員合わせて40人が参加した。

総務課長による開会の挨拶、出席者の自己紹介後、基盤機関の事務担当者からのトピック、前回基盤事務打合せ時における質問、葉山本部からのトピックについて回答及び説明が行われた。更に5つのグループに分かれ、グループディスカッションが行われ、活発な意見が交わされた。

総括では、意見交換で交わされた問題点について、葉山本部で改めて議論し、適宜改善していく旨が述べられ、基盤機関および本部共に認識を共有し、連係を一層深める打合せとなった。



【文責 総務課】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/h24taizai.html		
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター 事務係
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		
平成25年度総合研究大学院大学「学長賞」	平成25年1月18日まで	総合研究大学院大学 学務課研究協力係
http://www.soken.ac.jp/news_all/2710.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

11月

日程	時間	行事名	場所
1日(木)	13:00-15:00	国際日本研究専攻 大学院入学試験説明会	国際日本文化研究センター
	http://www.nichibun.ac.jp/number/number_2.html#setsumeikai		
2日(金)	15:00-17:00	統計科学専攻 大学院説明会	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/senkou/		
3日(土・祝)	10:00-12:00	第15回先導科学研究科 学術講演会	総研大葉山キャンパス 共通棟2階 講義室
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2650.html		
10日(土)	12:45-17:00	生命共生体進化学専攻 専攻説明会	秋葉原UDXカンファレンス 会議室
	http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus/20121110.html		
10日(土)	12:45-17:00	基礎生物学専攻 大学院説明会	秋葉原UDXカンファレンス 会議室
	http://www.nibb.ac.jp/graduate/		
15日(木)	17:00-19:00	情報学専攻 入試説明会	国立情報学研究所
17日(土)	12:00-17:00	大学共同利用機関シンポジウム2012 「万物は流転する」	東京国際フォーラム
	http://banbutsu-ruten.jp/		
20日(火) -22日(木)		専門基礎力涵養集中講座「総研大精選講義」 『量子力学概論』	総研大葉山キャンパス
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2550.html		

12月

日程	時間	行事名	場所
6日(木) -7日(金)		生命科学リトリート(生命科学研究科3専攻 +生命共生体進化学専攻)	ヤマハリゾートつま恋 (静岡県掛川市)
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2631.html		

11日(火)		総研大第8回大学院教育研究会 「留学生と日本人学生が創り出す グローバルリーダー」	TKP 東京駅八重洲 カンファレンスセンター
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2700.html		
13日(木) -14日(金)		平成24年度総合研究大学院大学 国際シンポジウム 「知の循環社会—グローバル融合社会における 情報循環ネットワークの創成—」	湘南国際村センター
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2703.html		

2013年1月

日程	時間	行事名	場所
11日(金) -12日(土)		生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	総研大葉山キャンパス
29日(火)		核融合科学専攻 学位論文公开发表会	核融合科学研究所 管理福利棟4階 第一会議室
1月29日(火) -2月1日(金)		核融合科学専攻 アジア冬の学校	核融合科学研究所 シミュレーション科学研究棟 1階会議室

● 基盤機関の行事

11月

日程	時間	行事名	場所
10月16日(火) -12月9日(日)	9:30-16:00	行列にみる近世-武士と異国と祭礼と-	国立歴史民俗博物館
1日(木)	13:15-18:00	NII 湘南会議 記念シンポジウム ~アジアからグローバルな未来価値創成へ~	学士会館
	http://www.nii.ac.jp/about/international/shonanmtg/sympo2012		
3日(土)	10:00-17:10	国際ワークショップ「アジアの布と生きる」	国立民族学博物館
3日(土)	12:30-16:30	国立遺伝学研究所 公開講演会 2012 知りたい! 生命科学の最先端	秋葉原コンベンションホール
3日(土) -4日(日)	3日 10:30-17:00 4日 10:00-16:50	国際フォーラム「漢族社会における ヒト、文化、空間の移動—人類学的アプローチ」	国立民族学博物館
4日(日)	13:00-17:15 (予定)	公開フォーラム「世界の博物館 2012」	国立民族学博物館
4日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第275回「アフリカの織物とプリント布」	国立民族学博物館
5日(月)	13:30-16:30	統計数理研究所公開講演会	統計数理研究所 大会議室
	http://www.ism.ac.jp/kouenkai/index.html		

11月6日(火) -12月2日(日)	9:30-16:00	総合展示 伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館
11月6日(火) -12月2日(日)	9:30-16:00	伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
9日(金)	13:00-17:30	情報・システム研究機構シンポジウム 2012 「生命科学のビッグデータ革命 - 仮想から現実へ -」	一橋講堂 (東京都千代田区)
	http://www.rois.ac.jp/sympo/2012/index.html		
10日(土)	12:00-15:30	みんなくミュージアムパートナーズ点字教室	国立民族学博物館 エントランスホール (本館1階)
10日(土)	13:00-15:00	第347回歴博講演会「近世祭礼図にみる行列」	国立歴史民俗博物館
10日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ 「未来を生きる君たちへ」	国立民族学博物館
10日(土)	13:30-17:00	内之浦宇宙空間観測所開設50周年記念式典・ 講演会	内之浦銀河アリーナ 大ホール (鹿児島県肝付町)
10日(土)	18:30-19:45	国立情報学研究所 軽井沢土曜懇話会 「情報と心」	国立情報学研究所 国際高等セミナーハウス (軽井沢)
11日(日)	9:30-16:00	内之浦宇宙空間観測所 施設特別公開 (50周年記念イベント)	宇宙航空研究開発機構 内之浦宇宙空間観測所 (鹿児島県肝付町)
11日(日)	10:00-17:00	国際シンポジウム「ヒーリング・オルタナティブス ーケアと養生の文化」	国立民族学博物館
11日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第276回「オセアニアの織物」	国立民族学博物館
		※16:00～「東南アジアの織機と織物」 台風17号の影響により中止となりました第270 回ウィークエンド・サロンを開催いたします	
16日(金) -17日(土)	16日 10:30-19:00 17日 10:00-18:30	国際シンポジウム 「大規模災害とコミュニティの再生」	国立民族学博物館
17日(土)	13:30-15:00	特別展「世界の織機と織物 —織って！みて！織りのカラクリ大発見」関連 第414回みんなくゼミナール 「東南アジアの織機と衣装」	国立民族学博物館
18日(日)	13:30-15:00	企画展 「記憶をつなぐ—津波災害と文化遺産」関連 南部藩壽松院年行司支配太神楽	国立民族学博物館

19日(月) -22日(木)		第22回国際土岐コンファレンス「核融合プラズマ および天体プラズマにおける実験と理論モデル の相互検証」	セラトピア土岐 主催:核融合科学研究所
http://itc.nifs.ac.jp/			
20日(火)	18:30-20:00	市民学術講演会 太陽観測衛星「ひので」は何を明らかにしたか?	セラトピア土岐 3階大会議室 主催:核融合科学研究所
http://www.nifs.ac.jp/			
24日(土)	13:30-15:30	第164回くらしの植物苑観察会「菊花のかたち」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
24日(土) -25日(日)	13:30-15:00	国際シンポジウム「中国の社会と民族 —人類学的枠組みと事例研究」	国立民族学博物館
25日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第277回「ヤギ毛の繊維利用について」	国立民族学博物館
26日(月)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「計算をはじめた未来のカメラたち —ピンホールカメラから遠く離れて」	国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			
28日(水) -30日(金)	28日 10:30-17:30 29日 10:00-16:50 30日 10:30-17:00	平成24年度みんなく若手研究者奨励セミナー 「包摂と自律の人間学——空間をめぐって」	国立民族学博物館
29日(木)	10:30-	カムイノミ	国立民族学博物館 前庭
30日(金)	未定	日仏研究交流フォーラム —人口学から世界を理解する	国立民族学博物館

12月

日程	時間	行事名	場所
2日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン —研究者と話そう 第278回 「黄土文明と現代中国—山西省介休(かいきゅう) 市で展開する観光開発」	国立民族学博物館
2日(日)	14:30-16:00	NII 湘南会議記念講演会 メディア認識技術の仕組みと最前線	湘南国際村センター 国際会議場
http://www.pref.kanagawa.jp/evt/p520636.html			
12月4日(火) -1月27日(日)	9:30-16:00	冬の華・サザンカ	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
8日(土)	13:00-15:00	第348回歴博講演会 「東国古墳時代像の再構築」	国立歴史民俗博物館
9日(日)	11:00-12:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第279回「グローバル化するインド舞踊」	国立民族学博物館
9日(日)	13:30-16:00	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ 「少年と自転車」	国立民族学博物館

11日(火)	14:00-16:00 (開場 13:30)	第262回日文研フォーラム「日本中世の特殊な風習と中世文化—上流階層における唐物趣味や禅趣味を中心に—(仮)」	ハートピア京都3階大会議室
http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html			
12月13日(木) -1月29日(火) (予定)	10:00-17:00	年末年始展示イベント「ヘビ」	国立民族学博物館
15日(土)	10:00-16:30	第86回歴博フォーラム 「ここまでわかった！縄文人の植物利用」	国立歴史民俗博物館
15日(土)	13:30-15:00	国際ワークショップ「グローバル支援のための実践人類学—研究と実践のキャリア・プランニング」	国立民族学博物館
15日(土)	13:30-15:00	第415回みんぱくゼミナール「樹皮舟を復元する—極東ロシアの白樺樹皮文化」	国立民族学博物館
15日(土)	13:30-15:30	第165回くらしの植物苑観察会 「サザンカの品種とその文化史」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
16日(日)	11:00-12:00	みんぱくウィークエンド・サロン —研究者と話そう 第279回 「資料の公開・活用のためのひとくふう」	国立民族学博物館
12月18日(火) -1月27日(日)	9:30-16:00	総合展示 元禄二年堺大絵図	国立歴史民俗博物館
21日(金) -22日(土)	21日 9:30-19:30 22日 10:15-17:15	国際シンポジウム 「グローバル化時代の包摂と排除:インドにおける社会的包摂と排除の新しいかたち」	Japhu Christian College, Kohima, India 主催:国立民族学博物館
23日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第280回 タイトル未定	国立民族学博物館

2013年1月

日程	時間	行事名	場所
6日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第281回 「移民のささえるヨーロッパ」	国立民族学博物館
12日(土)	13:00-15:00	第349回歴博講演会「日本建築史の再構築」	国立歴史民俗博物館
12日(土)	13:30-16:30	みんぱく映画会/みんぱくワールドシネマ 「パリ20区、僕たちのクラス」	国立民族学博物館
13日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第282回 「ヨーロッパのキリスト教」	国立民族学博物館
16日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座「大学生の数学力、なう—数学基本調査をよくみると？」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			
19日(土)	13:00-17:00	第87回歴博フォーラム「巳年の初囃」	ヤクルトホール
19日(土)	13:30-15:00	第416回みんぱくゼミナール 「ヨーロッパのキリスト教とファシズム —ルーマニア・レジオナル運動を中心に—」	国立民族学博物館

20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第283回 タイトル未定	国立民族学博物館
26日(土)	13:30-15:30	第166回くらしの植物苑観察会 「都のなかの安らぎ空間」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
26日(土)	未定	国際シンポジウム 「グローバル化における紛争と宗教的社会運動 —オセアニアにおける共生の技法」	国立民族学博物館
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第284回 タイトル未定	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

- 西田篤弘 元理事
- 諸熊奎治 名誉教授
平成24年度 『文化功労者』 に選ばれました。

高エネルギー加速器科学研究科
加速器科学専攻

- 黒川眞一 名誉教授
中華人民共和国友誼賞 受賞

複合科学研究科
情報学専攻

- 高須淳宏 教授ら
The Fourth International Conference on Creative Content Technologies
(CONTENT 2012)にて Best Paper Award を受賞

生命科学研究所
遺伝学専攻

- 伊原伸治 助教
日本生化学会奨励賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター54号をお届けします。

10月11日（木）は快晴に恵まれた入学式となりました。新入生の皆さまは、新たな希望に向かって順風満帆の第一歩を踏み出されたことと思われます。おめでとうございます。

10月27日（土）、春秋恒例のソフトボール大会が横須賀の電力総合研究所グラウンドで開催されました。学長、図書館長を初め葉山キャンパスの教職員・学生が大勢集まり、和気藹々と試合を楽しみました。タンザニアからの留学生 E 君は、野球をやったことがないということで、守備や走塁では苦労していましたが、クリケットの経験があるためか、バッティングは大変上手でした。高齢の方の参加も多く、足がもつれるたびにやじられながらも、皆さんけがもなく無事終えることができました。

季節は冬に向かっていきます。夏場はせわしなく鳴いていたカネタタキも、最近の冷え込みで、ずいぶんとスローテンポなリズムに変わってきました。朝晩は冷え込みます。皆さまご自愛ください。



◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2012年11月14日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報室（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1632

©2012 SOKENDAI